

〔様式 2〕

## 令和 3 年度南予地方局予算の概要

- 1 予算事項名 シカ被害防除推進事業費（南予）〔継続〕
- 2 事業期間 令和元年度～令和 3 年度
- 3 所 管 南予地方局農林水産振興部森林林業課
- 4 事業概要

南予地域は、県下ヒノキ森林面積の約 6 割を占めるヒノキの主産地で、平成 29 年に愛媛県はヒノキ生産量、全国 1 位に返り咲いたところであるが、県内随一のシカ生息密度の影響により、被害面積・材積ともに最も多く、成木へのシカ被害による素材劣化は、将来の木材収入に影響を及ぼすことから、素材生産を行う者にとっては重大な懸念材料となっている。

このため、緊急かつ地域一帯となったシカ被害の防除対策が望まれており、これから収穫期を迎える森林施業後の成木に対するシカ被害防除策を実証し、シカ被害の低減とヒノキ材等県産材の品質向上により、地域林産業の活性化に寄与する。

	令和 3 年度
予算額	878 千円

### 5 事業内容

#### (1) 残存木被害実態調査

管内における、従来の間伐施業や主伐再造林施業地周辺の残存木のシカ剥皮被害等の実態を把握し、関係者で認識の共有化を図る。

#### (2) シカ剥皮被害等防除実証事業

施業後の残存木に対するシカ剥皮被害等防止に効果のある防除対策を検討する。

##### ① 忌避剤・防除器具等による現地実証

###### (ア) 忌避剤効果の実証

森林作業道沿い立ち木へのドローンを活用した忌避剤の散布及び効果の実証

###### (イ) 防除器具の実証

防除器具によるシカ剥皮被害等防除効果の実証

##### ② 効果的な忌避剤散布方法、防除器具選定と技術普及

忌避剤・防除器具の技術普及、ドローン散布技術の応用試験



引き続き、同じ条件下で忌避剤散布の実証試験を行い、その効果を継続して検証する。そのほか、ドローン散布技術を応用した下刈り省力化技術の検証など、新たな省力化技術の検証に取り組む。

また、これまでの検証結果を取りまとめ、普及用広報パンフレットを作成し地域への技術普及を図る。